

銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役

橋本 健一郎



1月の銅の概況及び2月の見通し (3)

【住宅】

平成30年12月の住宅着工戸数は7万8,364戸で、前年同月比で2.1%増となった。また、季節調整年率換算値では96.1万戸(前月比0.6%増)となった。

住宅着工の動向については、前年同月比で先月の減少から再びの増加となっており、利用関係別にみると、前年同月比で持家、分譲住宅は増、貸家は減となった。

引き続き、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

【伸銅品生産】

伸銅品生産は、前年比-8.1%の6万5,832 t。3か月ぶりの減少。

自動車向けの伸銅品需要は好調を継続している。エアコン向けの需要も堅調。

内需は5万4,518 t、+0.5%、2010年以來の高い水準。

輸出は1万1,314 t、-5.6%、2か月連続マイナス。

銅条は2万1,552 t、-2.7%、3か月ぶりマイナス。

黄銅棒は1万5,260 t、+1.4%、2か月連続プラス。

【電線】

前年比-1.4%の5万6,700 t。うち、国内は-1.3%、輸出が-2.6%。通信は+17.8%、電力は-0.4%、電気機械は-6.7%、自動車は+4.5%、建設電販+0.4%、その他内需-10.6%。

【輸出】

電気銅輸出が+6.1%の3万4,182 t。

銅スクラップが+93.5%の3万7,774 t。

【輸入】

電気銅が+36.2%の4,672 t。

スクラップが+76.7%の1万2,388 t。

【見通し】

自動車は生産が+4.6%。国内販売台数が前年比+2.3%。生産は2か月連続プラス。販売が再びプラスに回復しておりこれが今後続くかどうか注目。

住宅着工の動向については、前年同月比で2.1%増となった。

また、季節調整年率換算値では96.1万戸(前月比0.6%増)となった。

今後プラス傾向が続くのか今後の動向に注目。

伸銅品生産は前年比-8.1%の6万5,832 t。1か月ぶり減少。今後再びプラスとなるかに注目。

電線は前年比-1.4%の5万6,700 t。輸出が-2.6%。

需要の多い自動車、建設電販がそれぞれ+139%、+38%。

銅輸出は地金、スクラップとも増加!好調な外需から。

銅輸入は好調な生産を背景に増加。

【スクラップ景況予想】

流通在庫は月初の建値69万から72万まで回復。70万台を突破、回復してきていることや先行きの相場不透明感から逃げ売りが出てくるのではないかと?

需要面に関しては足元の生産状況は変わらず堅調。

例のごとくメーカーの購入意欲は高くはないが慢性的な原料不足で品費の良いスクラップは需要がある。

ただ低品位のスクラップは中国輸入環境規制の問題から飽和状態で買わず。

【LME・為替予想】

今月は米中貿易戦争の動向と春節明けの中国の動向に左右される。

米中貿易に関しては、中国政府が米国からの輸入を大幅に増やして2024年までに対米貿易黒字をゼロにする提案していたと報じた。前日には「米財務長官が中国への追加関税の一部、もしくは全部の撤回を提案した」とも伝わっていた。

米中の歩み寄りや貿易交渉が進展するとの期待が強まるなどの材料があり、解決とはいかないが米国が引き締めの手綱を緩める可能性があるのではないかと。

春節明けの中国に関しては、中国の購買担当者景気指数(PMI)が好況の分かれ目である50を下回り、中国政府が減速傾向にある同国経済の安定化に向け一段の景気刺激策を実施する姿勢を示したことなどから何かしらの景気対策が行われるのではないかと?

これらを踏まえた2月の銅価格は、米中貿易戦争で米国に有利な進展があり春節明けの中国で景気対策などが行われた場合、6,300ドル付近。

両条件が揃わなかった場合現状からもう一段安の5,800ドル付近まで下落するとの予想。

ドル円値は109円~111円(TTM)台を予測。

銅建値に関しては680-750円程度と予測している。

【銅・アルミレポート「1月の銅の概況及び2月の見通し」終了】

Copper "セッツ" は ALLOY の専門商社。

専門商社だから出来る豊富な品揃えと的確な在庫管理は、進化を続ける日本産業にもスピーディーに対応します。

海、陸、空。そして未来へ...

「セッツ」は特にアルミニウム青銅合金(アームスブロンズ)を重点にその優れた特性で様々な業界、あらゆる分野の発展に寄与。舞台は宇宙へ、深海へ。「セッツ」は未来の要を支えます。

連続鋳造銅合金、ダイカスト製品ほか少ロット製品も迅速対応
在庫常時 600t・CopperALLOY のことなら

SSM 摂津特殊金属株式会社

〒534-0011 大阪市都島区高倉町3-1-19

TEL 06(6926)3751 FAX 06(6926)5557

第二倉庫 大阪市都島区内代町4-6-22

第三倉庫 大阪市都島区内代町4-6-4

www.setsutokusyu.co.jp